

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/09/26号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

ドル高と景気減速懸念で80ドル割れ

NY原油先物相場は、1バレル=80ドルの節目を割り込む展開になった。9月20～21日の米連邦公開市場委員会（FOMC）で強力な金融引き締めスタンスが再確認される中、ドル相場の急伸、景気減速懸念の高まりを背景に下落した。ウクライナ情勢の緊迫化でロシア産エネルギーの供給不安から買いが膨らむ場面も見られたが、戻りを売られている。中心限月ベースでは1月10日以来の安値を更新している。

FOMCでは3会合連続で0.75%の利上げが決定され、更に当局者の金利見通しも6月時点から大幅に上方修正されている。11月も更に0.75%の大幅利上げが続く可能性もあり、マーケットは強力な金融引き締め策に対する対応を迫られている。為替市場ではドルが急伸しており、ドル建てコモディティ価格全体が急落対応を迫られた。また、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長が改めて経済に生じる「痛み」に言及したことで、世界経済の減速による石油需要不安を織り込む動きも強くなった。

米エネルギー情報局（EIA）の米石油在庫（9月16日時点）は、原油が前週比144万バレル増、ガソリンが157万バレル増、石油精製品が123万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

ドル急伸と景気減速懸念が上値圧迫、産油国の動向に要注意

需要不安と供給不安の交錯から不安定な地合いが続いていたが、ドルの急伸で下値を切り下げている。FOMC後のドル急伸が月末にかけて続くと、原油需要動向に関係なく下振れするリスクを抱えた状態になる。特に株価や金属相場などが急落するなど、マーケット全体が世界経済減速の織り込みを続けると、前週の80ドル割れの流れから75ドル、70ドルと下値を切り下げる可能性があり、短期下振れリスクが高まっている。ドル高と景気減速リスクの織り込みが維持、強化されるか否かが焦点になる。

一方、10月5日に石油輸出国機構（OPEC）プラス会合を控え、産油国の動向にも注意が必要。OPECプラスは9月5日の会合で10月に日量10万バレルの減産を行うことを合意したが、原油相場は上値の重い展開が続いている。ナイジェリア石油相は、原油価格が既に幾つかの産油国の財政均衡ラインを下回っているとして、追加減産の可能性に言及している。OPECプラスが減産対応の協議を本格化させると、安値限界が意識されて80ドル台回復に向かう可能性がある。いつOPECプラスが動き出しても不思議ではない価格水準、カレンダー環境にある。

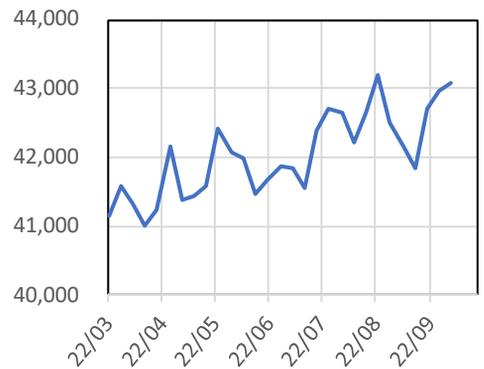
また、ウクライナ情勢にも注意が必要。ウクライナの親ロシア派が優勢な地域でロシア領土編入を問う「住民投票」が実施されており、その結果を受けてロシアはウクライナの占領地を自国領土に組み込む見通し。ウクライナや西側諸国はこうした動きに強く反発しており、ウクライナ情勢が一段と緊迫化すると、ロシア産エネルギー供給不安が原油相場を押し上げる可能性もある。特に天然ガス相場の高騰が再開されると、石油に代替需要が発生するとの思惑から買いが膨らむ可能性がある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



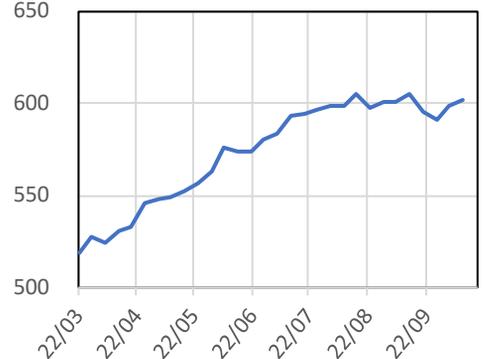
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

